

# 自然観察 NOW

NO : 58

野幌森林公園自然情報

発行 : 2021年9月5日

北海道ボランティア・レンジャー協議会

ホームページ <http://voluran.com/>



## 病原性ウイルスについて

五箇公一氏（国立環境研究所）は、「世界：5月号：生物多様性とは何か、なぜ重要なのか？より」で、「人間社会において排除すべき存在とされる病原性ウイルスも、自然界においては生物多様性の一員として重要な生態系機能を果たしている。人間社会においては排除すべき病原性ウイルスも、自然界においては生物多様性の一員として重要な生態系機能を果たしている。それは、動物集団が増え過ぎ密になり、生態系のバランスを崩し始めたときに、その集団に感染症をもたらして数を減らすとともに、さらに抵抗性をもつ、より強い集団へと進化させる「天敵」としての役割である。・・・つまり病原性ウイルスは自然生態系のバランスを維持するうえで不可欠な存在と言える。」と述べています。

今回は、人間が野外活動で遭遇する、病原性ウイルスを媒介するマダニについて調べてみました。

## マダニ

マダニは8本脚で、昆虫（6本脚）ではなくクモやサソリに近い節足動物です。大きさは吸血する前で約3~4mm、吸血後で5~10mm程度、生息場所は屋外の草むら、森林、藪。日本に分布するマダニのうち、シュルツェマダニ、ヤマトマダニなどの約20種類が動物に寄生します。マダニの唯一の栄養源は、動物の血液です。幼ダニ・若ダニは発育・脱皮のため、成ダニは産卵のために吸血します。その吸血の際に、原虫やウイルス、細菌などさまざまな病原体の重要な媒介者となります。メス成虫は2~3千個を産卵後（経卵感染）生涯を終えます。

ヤマトマダニ（メス） 畜大：とかちのマダニ



### ・マダニが媒介する感染症

マダニはライム病・回帰熱・日本紅斑熱・ダニ媒介性脳炎・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）などの病気の原因となる病原体を保有していることがあり、咬まれることでこれらの病気に感染することがあります。

### ダニ媒介性脳炎（ウイルス）

ユーラシア大陸広域で年間約10,000人の患者が発生しているマダニ媒介性の感染症で、重篤な脳炎による神経疾患を引き起こし、致死率が高い脳炎です。日本では冷涼な北海道でのみ発生しており、5名の患者が報告されています（内2名は死亡）。2017年モニタリング調査で、札幌市内の山林で捕獲された野ネズミやアライグマ84匹の血液調査で、12%に当たる10匹がダニ媒介性脳炎のウイルスに感染していることを確認されています。特段の注意が必要です。



動物を待ち伏せするシュルツェマダニ  
北海道衛生研究所出典

### 重症熱性血小板減少症候群（SFTSウイルス）

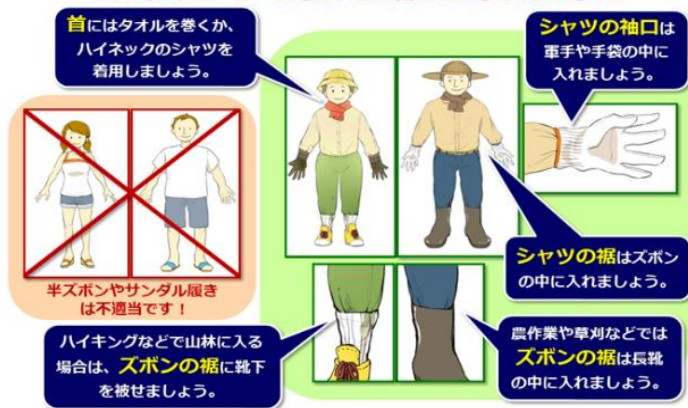
SFTS患者の致命率は約30%で極めて高く、府県では近年被害が発生しております。道内で発生事例はありませんが、北海道でもSFTSウイルスの遺伝子を持つマダニが確認されています。今後は発生に十分留意が必要です。

## マダニに咬まれないための対策

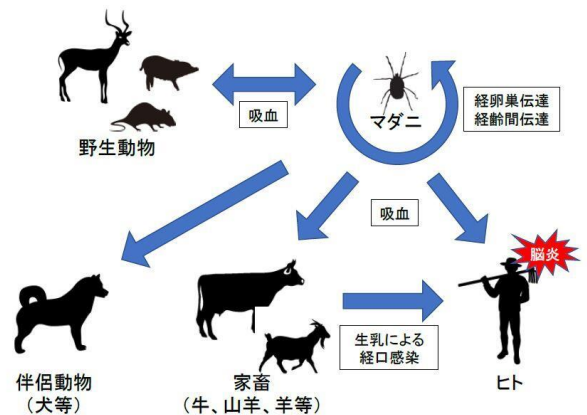
- ・長袖長ズボンの他に、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- ・上着や作業着は、マダニを目視で確認しやすい明るい服装がオススメです。
- ・上着や作業着を脱ぐ場合は、家の中に持ち込まないようにしましょう。  
また、体にマダニが付着しないように注意して脱ぎましょう。
- ・野外活動後は入浴し、マダニに刺されていないか確認してください。特に脇の下足の付け根、手首、膝裏、胸下、頭部などがポイントです。
- ・DEET(ディート)という成分を含む虫除け剤の中には、服の上から用いるタイプがあり、補助的な効果があるとされています。  
※あくまでも補助となりますので、使用の際はほかの対策と組み合わせてご活用ください。

### 2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう!



国立感染症研究所作成



ダニ媒介性脳炎ウイルスの自然界での感染環  
2021 北大プレスリリース

### マダニに咬まれた場合の対応

マダニの多くは、人や動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日から、長いものは10日間以上吸血しますが、咬まれたことに気がつかない場合も多いと言われています。

吸血中のマダニが体に付いているのを見つけた場合、無理に引き抜こうとしないでください。無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残り、化膿したり、マダニの体液を逆流させてしまったりする恐れがあるので、医療機関（皮膚科）でマダニの除去・洗浄等の処置をしてもらってください。

また、マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

札幌市保健福祉局作成

**観察会案内** コロナウイルスの発生状況によっては中止などになりますので、最新の情報に留意。

10月2日(土)	10:00~11:00	秋の森の匂いをかごう	開拓の村入口集合
10月17日(日)	9:30~12:00	晩秋の森観察四季美コース	自然ふれあい交流館駐車場
11月7日(日)	10:00~11:00	秋のありがとう観察会	自然ふれあい交流館

文責:三井 茂